安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
「表示の説明」は、誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度の区分を説明し、「図記号の説明」は図記号の意味を示しています。

表示の説明

⚠警告　「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。

⚠注意　「軽傷を負うことや家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明

⃠　中の絵と近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。

●　中の絵と近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。

△　中の絵と近くの文で、注意を促す内容を示します。

⚠警告

アース線を確実に取り付ける

アースを接続する

故障や漏電のときに感電の原因になります。

- ガス管、避雷線、避雷針、水栓などへのアース線接続は法令で禁止されています。
- アースの取り付け（D種接地工事）は、電気工事店または販売店にご相談ください。
（アース工事費は本製品の価格に含まれていません）

給水は上水道を使用する

指示

中水道や工業用水を使うと、ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。
また、異物などが配管につまり、水もれや故障の原因になります。

据え付け・設置について

水場での使用禁止

●浴室など湿気の多い場所には設置しない
感電・漏電・火災の原因になります。

指示

●設置工事は、説明書に従い確実に行う
水もれ・火災・感電の原因になります。

●設置工事部品は、必ず付属品および指定の部品を使用する
水もれ・火災・感電の原因になります。

●電気工事が必要なときは、専門業者に依頼する
火災・感電の原因になります。

電源・電源プラグ・コードは

指示

●電源は、交流 100 V 定格 15 A 以上のコンセントを単独で使う
火災・感電の原因になります。
延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。

●電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電や発熱による火災の原因になります。

●電源プラグの刃や刃の取り付け面のホコリは、定期的に乾いた布でふき取る
絶縁不良による火災の原因になります。

ぬれ手禁止

●電源プラグはぬれた手で抜き差ししない
感電の原因になります。

プラグを抜く

●お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。

●電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜く
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

●電源コードを傷つけない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない、重い物をのせない、高温部に近づけない、はさみ込まない、加工しない
破損し、火災・感電の原因になります。

●傷んだ電源プラグ・コードや、ゆるんだコンセントを使わない
感電・ショート・発火の原因になります。

⚠警告

異常・故障時はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止める

指示

火災・感電・水もれの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。

《異常・故障時の例》
- 配管や本体から水もれする
- 異音・異臭がする
- 本体が異常に熱い
- 本体にひびや割れが入っている
- 本体から発煙

など

分解・改造・修理をしない

分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。

本体や電源プラグ部に洗剤や汚水、水などをかけない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。

低温やけどに注意する

指示

便座に皮膚の同じ場所が長時間触れていると、低温やけどの原因になります。

次のようなかたが使うときは、便座温度調節ボタンを「切」にして、周囲のかたが十分気をつけてあげてください
お子様／お年寄り／皮膚感覚の弱いかた／ご自分で温度調節のできないかた／眠気を誘う薬（睡眠薬やかぜ薬など）を服用されたかた／深酒・疲労の激しいかた　など

長期間使わないときは、電源プラグを抜き、止水栓を止め、温水タンクの水を抜く

指示

発火・水もれや、水の腐敗による皮膚の炎症などを起こす原因になります。

（つづく）

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

据え付け時・本体の着脱時は

指示

●本体給水ホース・タンク給水ホースを無理に引っ張ったり、折り曲げたり、力を加えない

破損・接続部のゆるみにより、水もれの原因になります。

プラグを抜く

●水道工事などは、条例に基づき行う

水もれの原因になります。

●持ち運ぶときは、必ず本体を持つ

便座や便座ふたを持つと本体からはずれ、けがの原因になります。

次のようなかたが使うときは――
便座に座るときや立ち上がるときに、転倒しないように周囲のかたが注意する

指示

お子様／お年寄り／自分で便座に座ることや立ち上がることができないかた

便座から立ち上がるとき、着座したままで体を前にずらすような動作をくり返すと、本体が便器からはずれるおそれがあり、便器から落ちてけがをする原因になります。

使用時・取り扱いについて

禁止

●便座ふた・便座開閉時に、指などをはさまない

けがの原因になります。

●取扱説明書に記載されている用途以外に使わない

火災・感電・けがの原因になります。

●着座センサーを衣類などでふさいだまま、操作パネルのボタンを押さない

着座センサーが誤認してノズルから温水が出て、温水を浴びたり床をぬらしたりする原因になります。

禁止

●便座ふたに寄りかからない

便座ふたが割れて転倒したり、けがの原因になります。

●脱臭カセット挿入口から、脱臭カセット以外のものを入れない

指などを入れると、挿入口の奥の脱臭ファンでけがをする原因になります。

●開口部から指や物を入れない

感電・けが・故障の原因になります。

●便座や便座ふたに乗ったり、強い衝撃を与えたりしない

転倒したり割れたりして、けがの原因になります。

●トイレ暖房用ストーブ・ヒーターやたばこなどの火気類を近づけない

火災・変色・故障の原因になります。

凍結のおそれがあるときは（凍結予防）

●暖房するなど、周囲の温度が氷点下にならないようにする

●温水タンクおよび本体給水ホースの水を抜く

凍結すると給水管ホースや温水タンクなどが破損し、水もれの原因になります。

⚠注意

お手入れのときは

指示

●ストレーナをはずすときは、止水栓を閉める

また、取り付けるときは、すき間がないようにしっかり取り付ける

（→ 28 ページ）

水もれの原因になります。

禁止

●脱臭フィルターには、洗剤や水をかけない

洗剤をかけると塩素系ガスが発生し、気分が悪くなることがあります。

万一、洗剤がかかったときは、すぐ換気をしてください。

免責事項について

●地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。

●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品で寿命があります

故障したままで使い続けないでください

故障したままのご使用は、**火災や感電、室内浸水の原因**になります。異常に気づいたら、**電源プラグを抜き、止水栓を止めてご使用を中止し**、販売店・工事店またはメーカーへご連絡ください。

定期的な点検をおすすめします

安心してご使用いただくため、**定期的な点検**をおすすめします。また、**長期間（10 年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。使い勝手・機能性・省エネ性能も向上しています。販売店・工事店またはメーカーにご相談ください。

温水洗浄便座協議会　後援 経済産業省

http://www.sanitary-net.com

0120-39-7718　受付時間：平日 9：00 ～ 17：00

●セルフ安全チェックリスト

- □ 本体や便座にひび割れがありませんか？ゴム足ははずれていませんか？
- □ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか？
- □ 便座の開閉はスムーズですか？ガタツキはありませんか？
- □ 本体や止水栓まわりから水もれはありませんか？
- □ 電源コードが熱くなっていませんか？傷んだり、はさみ込んだりしていませんか？焦げ臭いにおいがしませんか？
- □ 電源プラグにほこりがたまっていませんか？

異常報知について（→ 32 ページ）、故障かなと思ったら（→ 33 ページ）もあわせてお読みください。

お願い

据え付け・施工、設置場所について

●給水管の取りはずし、タンク給水ホースの取り付けのときに、ボールタップ接続ねじ部を回さないでください
回すとロータンクに水が入らなくなる場合があります。
(→ 15 ページ)

●本体の取り付け後は、水もれがないことを確認するまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください

●寒冷地用給水管・フラッシュバルブの配管工事が必要なときは、専門業者に依頼してください
専門的な工事が必要です。
なお、使わない給水管は保管しておいてください。

●本体を便器に着脱するときは、給水ホースなどに無理な力を加えないでください

●直射日光を当てないでください
樹脂部が変色・劣化する原因になります。

お手入れについて

●本体の汚れは、水を含ませた布でふき取ってください
ひどい汚れは、適量に薄めた中性洗剤を布に含ませてふき洗いし、水ぶきして洗剤分をふき取ってください。
消毒などには、適量に薄めた逆性石けんを布に含ませてふき洗いし、水ぶきして液をふき取ってください。

●脱臭フィルターの黒粉が手に付いたときは、すぐに洗ってください
皮膚や目などに炎症を起こすおそれがあります。

●酸性やアルカリ性のトイレ用洗剤・ベンジン・シンナー・クレンザー・研磨剤入りの洗剤・ナイロンたわしなどを使わないでください
プラスチック・金具を傷めます。

●便器洗い用のトイレ洗剤を、本体に付けないでください
本体を傷めます。また揮発性ガスによって本体を傷めることがありますので、便器内を洗剤で掃除する場合でもふたを開けたままにして短時間でお手入れしてください(便器内の洗剤はすぐに流してください)。

使用時・取り扱いについて

●便座・便座ふたを乱暴に開閉しないでください
割れたり、故障したりする原因になります。

●着座するときはゆっくり腰をおろしてください
破損の原因になります。

●着座センサーを衣類などでふさがないでください
着座センサーが正しく動作しないことがあります。

●ノズルなどに汚れを付けないでください
においの発生や故障の原因になります。

●操作パネルのボタンを、必要以上に強く押さないでください
故障の原因になります。

●男性の小便時には、洗浄ノズルに小便がかからないようにしてください
故障の原因になります。

●市販の便座カバーやふたカバーには、サイズが合わずカバーが破損するものがあります。購入前にサイズをご確認ください
また、便座ふたにカバーなどを付けて開閉に支障があるときは、カバーをはずしてください

脱臭フィルターの廃棄について

●不要になった脱臭フィルターは、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください

お知らせ

●洗浄後、ノズル付近から水が出ます。本体内部ホースの残水が出るもので、異常ではありません(約 2 分間で止まります)。

●脱臭は、約 15 分連続で使うと自動停止します。続けて使うときは、一度立ち上がって座り直してください。
脱臭機能は、便器内の脱臭を目的としています。トイレ全体を脱臭することはできません。

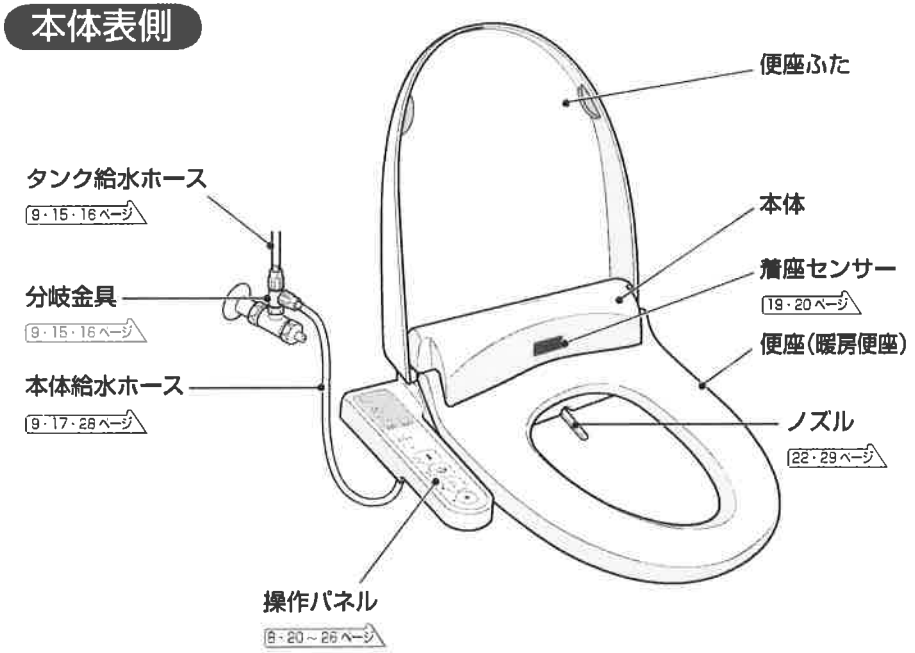
●洗浄を 2 分以上続けると、タイマーが働いて自動停止します。続けて使うときは、もう一度ボタンを押してください。

●ノズル付近から少量の水が出ることがあります。温水タンク内の水が温められ、膨張して出てくるもので、異常ではありません。
連続して水が出ているときは、異常が考えられます。止水栓を閉め電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。

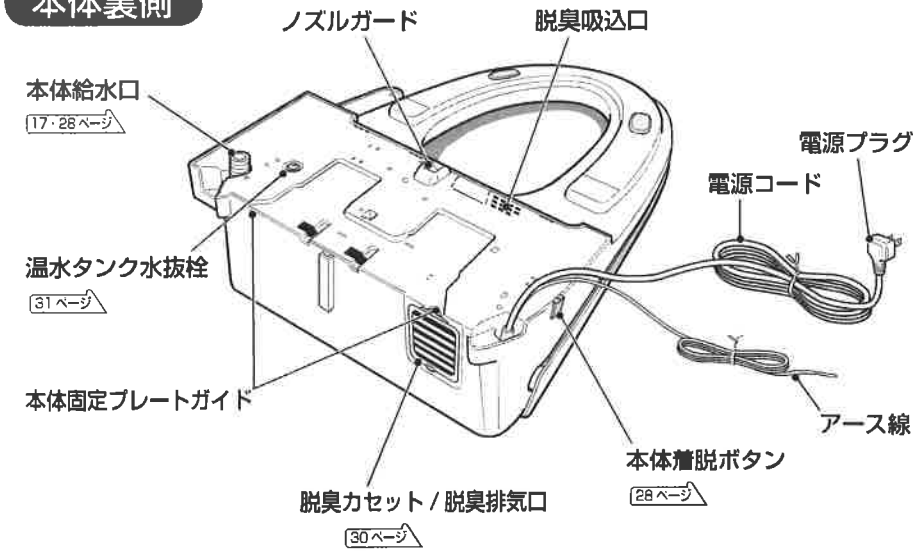
各部のなまえ

このマークの中の数字は、掲載ページを示しています。

本体表側

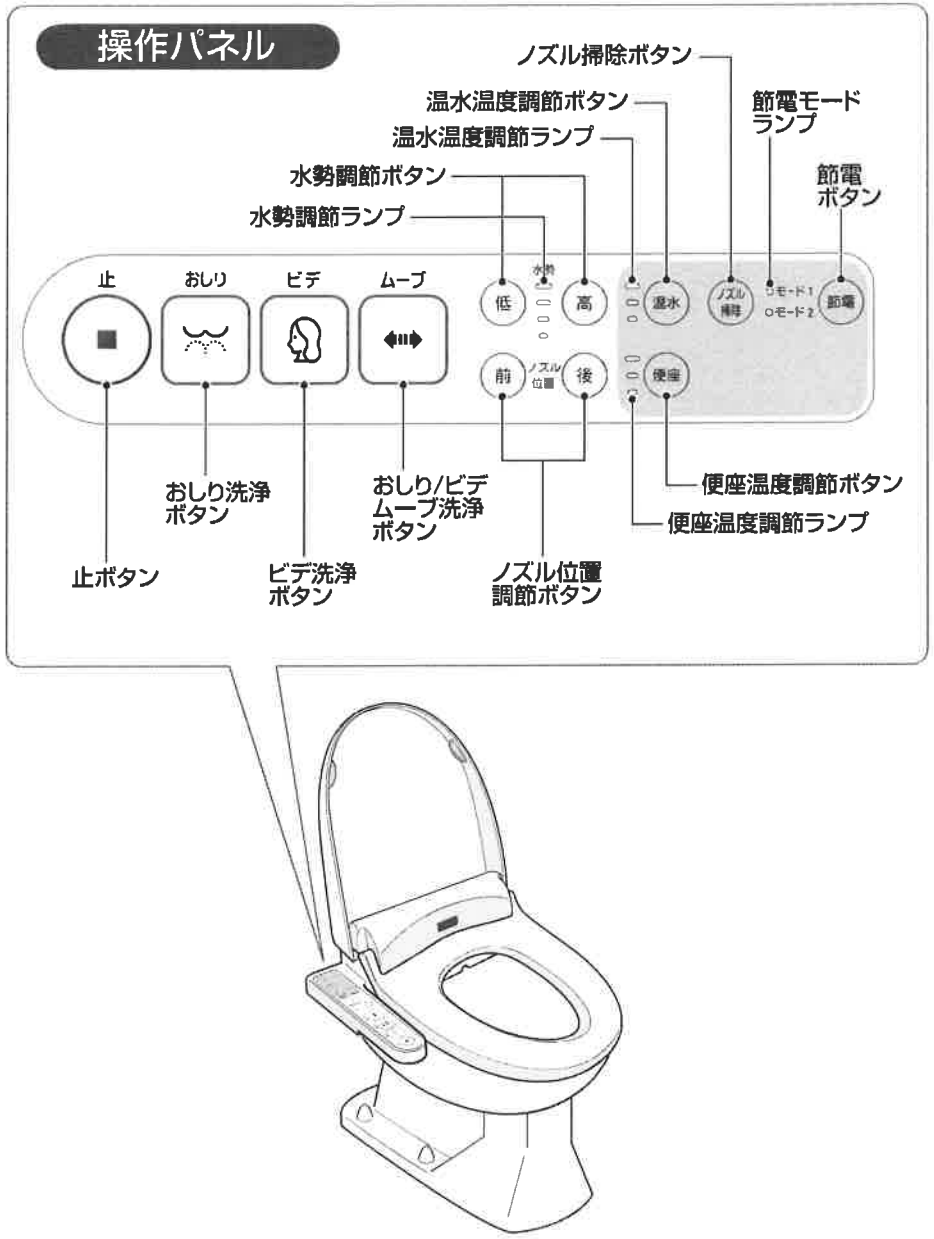


本体裏側



(つづく)

各部のなまえ（つづき）



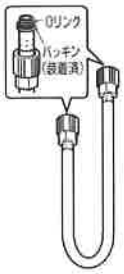
付属品

本体取り付け時に必要なもの

取付ボルトセット
1セット

本体固定プレート
1枚

タンク給水ホース
約0.5m＊1
1本



本体給水ホース
約1m＊2
1本

脱臭フィルター
1個
（消耗部品）
※本体に装着済

パッキン
3個
タンク給水ホースと
分岐金具に使用します。

分岐金具
1個

ボックスレンチ

＊1 ロータンクと止水栓の間が離れていて付属のタンク給水ホース（約0.5m）で足りない場合は、別売の給水ホース（約1.5m、約2m）をお求めください。

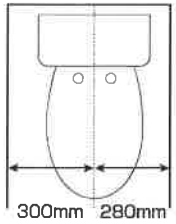
＊2 製品本体と止水栓の間が離れていて付属の本体給水ホース（約1m）で足りない場合は、別売の給水ホース（約1.5m、約2m）をお求めください。

取り付け前の確認

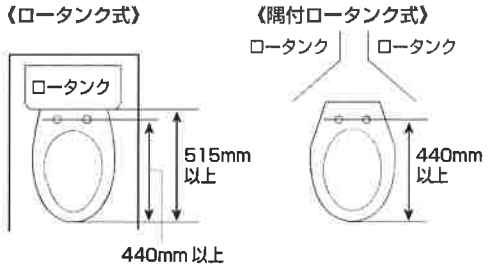
温水洗浄便座の取り付け作業前に、以下の内容をご確認ください。
付属品以外の別売部品が必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

取り付け場所の寸法の確認

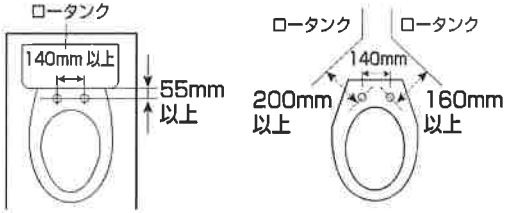
トイレの広さ



便器のサイズ



タンクの位置



止水栓とロータンクの間の寸法

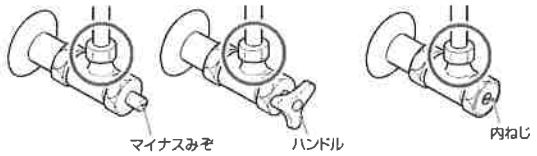
止水栓とロータンクの入り口が近接していると、給水ホースの引き回しが困難になる場合があります。
止水栓とロータンクの入り口が直線で 15cm 以上であれば、給水ホースの引き回しのスペースが取れ、取り付けできます。

アース端子の有無の確認

あ る	接続できます
な い	アース工事を電気工事店または販売店にご相談ください

止水栓などの種類の確認

■一般の止水栓　■内ねじ止水栓

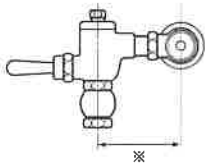


○部の分岐金具取付部のネジサイズが PF1/2 であれば、付属品の分岐金具で取り付けられます

■寒冷地用給水管（止水栓なし）

●付属品の分岐金具のほかに、TOTO 製給水管 T5MF7N（市販品）が必要です。

■フラッシュバルブ式



●付属品の分岐金具のほかに、フラッシュバルブアダプタ（市販品）が必要です。
※寸法をご確認の上、フラッシュバルブアダプタを選定してください。

専門的な工事が必要です
専門業者に工事をご依頼ください

取り付けかた

取り付け作業に必要なもの

配管時に必要なもの

ボックスレンチ（付属品）　モンキーレンチ（250mm）　マイナスドライバー

給水管を取りはずすときの残水処理に必要なもの

広口容器　ぞうきん

■取り付け・確認の流れ

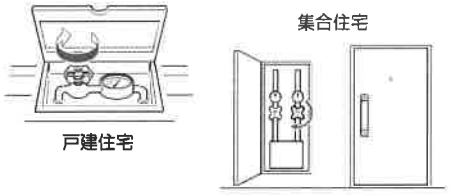
準備する――水道の元栓を閉める
↓
元の便座を取りはずす
↓
温水洗浄便座を便器に取り付ける
↓
便座と便器の取付を確認する
↓
分岐金具・タンク給水ホースを取り付けるため給水管をはずす
↓
分岐金具・タンク給水ホースを取り付ける（止水栓とロータンクの間の配管）
↓
本体給水ホースを取り付ける（止水栓と本体の間の配管）
↓
アース線を取り付ける――水道の元栓を開ける
↓
配管接続部などに水もれがないか点検する
↓
電源プラグをコンセントに差す
↓
温水洗浄便座の動作を確認する

取り付けの手順

準備する

水道の元栓を閉める

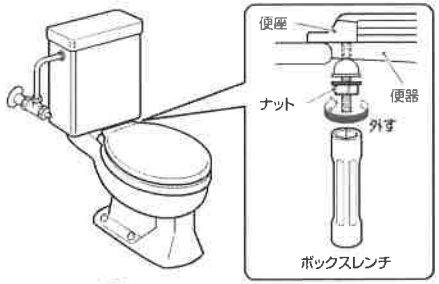
●水を使用中の器具がないことを確認し、水道の元栓を閉めます。



お願い
●元栓を閉めたら、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

元の便座を取りはずす

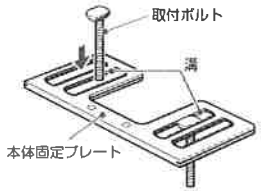
ナットをボックスレンチなどでゆるめ、便座を取りはずす



●取りはずした便座ふた・便座・ナットなどは保管しておいてください。引っ越しなどで必要になることがあります。

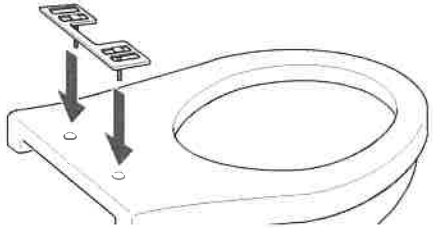
温水洗浄便座を取り付ける

1 **本体固定プレートの裏面**（ゴム板の付いてない面）**を上に向け、取付ボルトを本体固定プレートの内側の穴に差し込む**



●取付ボルトと本体固定プレートの溝がかみ合うように差し込みます。

2 **取付ボルトを便器の取付穴に差し込む**



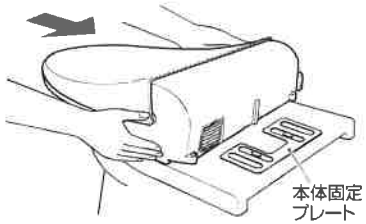
3 **半丸パッキン・ワッシャ・ナットを取付ボルトにねじ込み、手で締め付ける**

●半丸パッキンは、半丸側を便器側にしてください。

（つづく）

取り付けかた（つづき）

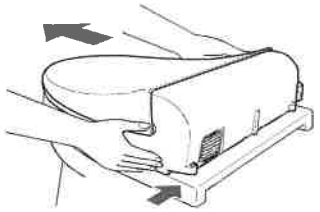
4 温水洗浄便座を本体固定プレートに取り付ける



● 本体中央部と本体固定プレートの中央を合わせ、カチッと音がするまで奥へ押し込んでください。

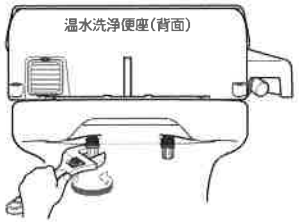
5 温水洗浄便座の位置を調整する

● 便器の先端（中心）に、便座の先端（中心）を合わせるようにします。うまく合わない場合は、ナットをゆるめて本体固定プレートの位置を調整してください。
● 本体背面とロータンクの間は 1cm 以上あけるようにします。
● 便器のサイズによっては、便座の先端が便器の先端から数 cm 出ることがありますが、正常にお使いいただけます。
● ノズルガードが便器にかかっていないことを確認します。



6 ナットを回して締め付ける

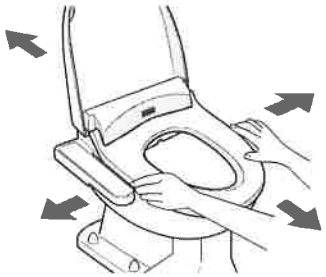
● 本体を便器に取り付けたとき、上下左右に多少のガタツキが発生しますが異常ではありません。
本体の着脱方式によるものです。



※最後はモンキーレンチなどで締め付けてください。（強く締めすぎると破損することがあります。）

お願い
● 長年お使いになると、取付ボルトの締め付けがゆるんでくる場合があります。
そのときは、ナットを締め付け直してください。

7 便座を前後左右に動かし、はずれないことを確認する



分岐金具・タンク給水ホースを取り付けるため

給水管をはずす

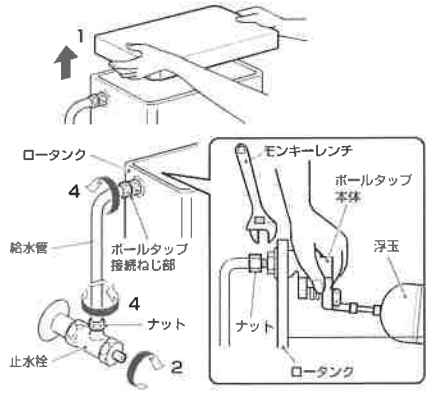
1 ロータンクの上ぶたをはずす

2 マイナスドライバーなどで止水栓を閉める

3 タンク内の水を流し、水が給水されないことを確認する

4 ナットを回して、止水栓およびロータンクから給水管をはずす

（このときボールタップ本体根元部をしっかりと握り、ボールタップ接続ねじ部を回さないようにする）



● 取りはずした配管やその他の接続部などは保管しておいてください。引っ越しなどで必要になることがあります。

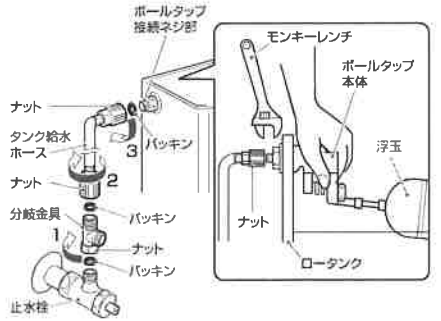
分岐金具・タンク給水ホースを取り付ける
（止水栓とロータンクの間の配管）

1 間にパッキンを入れ、ナットを回して分岐金具を止水栓に取り付ける

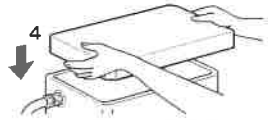
2 間にパッキンを入れ、ナットを回してタンク給水ホースを分岐金具に取り付ける

3 間にパッキンを入れ、ナットを回してタンク給水ホースをロータンクに取り付ける
タンク給水ホースがねじれないように手で押さえながら、モンキーレンチでナットを締める

4 ロータンクの上ぶたを元に戻す



● ボールタップ本体根元部をしっかりと握り、ボールタップ接続ねじ部を回さないようにする。



お願い
● 取り付けるとき、ボールタップ接続ねじ部を回すと浮玉がタンク側壁と干渉して、ロータンク内に水が入らなくなることがあります。このときは、元の位置にボールタップを戻してください。

（つづく）

取り付けかた（つづき）

専門的な工事が必要な取り付け

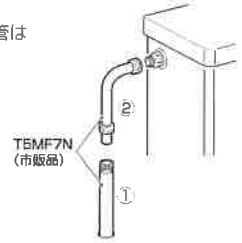
寒冷地用給水管（止水栓なし）・フラッシュバルブの配管工事（給水管をはずす→分岐金具・タンク給水ホースを取り付ける）が必要な場合は、専門業者へ依頼してください。

寒冷地用給水管（止水栓なし）の場合

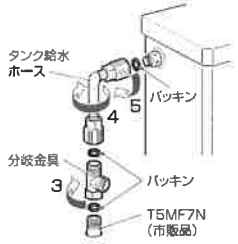
1 給水管を取りはずす

2 TOTO 製給水管 T5MF7N（市販品）を取り付ける

②側の給水管は使いません。



3 T5MF7N に分岐金具を取り付ける

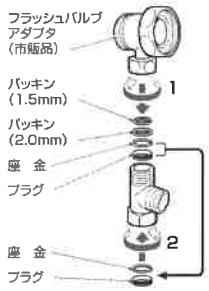


4 分岐金具にタンク給水ホースを取り付ける

5 ロータンクにタンク給水ホースを取り付ける

フラッシュバブル式の場合

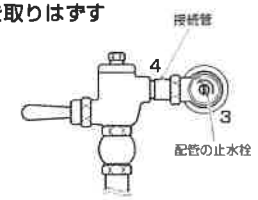
1 フラッシュバブルアダプターからプラグなどをを取りはずす



2 分岐金具に取りはずしたプラグと座金を取り付ける

3 マイナスドライバーなどで止水栓を止める

4 接続管を取りはずす



5 フラッシュバルブアダプタを取り付ける（接続部が下になるようにする）

6 分岐金具を取り付ける

本体給水ホースを取り付ける
（止水栓と本体の間の配管）

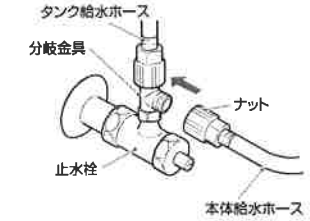
1 止水栓に接続されている分岐金具へ、本体給水ホース（パッキン付き）のナットを手で回して取り付ける

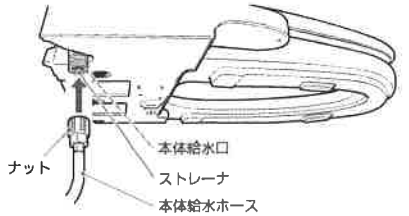
2 モンキーレンチでナットを締める

3 本体給水口の奥にストレーナが付いていることを確認し、本体給水ホース（パッキン付き）のナットを本体に、手で回して取り付ける

4 本体給水ホースがねじれないように手で押さえながら、モンキーレンチでナットを締める

●パッキンは本体給水ホースに内蔵されているので、あらためて入れる必要はありません。





●本体給水口が便器に重なるときは、本体を便器に装着する前に本体給水ホースを取り付け、その後本体給水口を後ろ方向に回してください。

まだ電源プラグは差し込まないでください
電源プラグは、水道の元栓と止水栓を開いてからコンセントに差し込みます。

アース線を取り付ける

⚠ 警告

アース線を確実に取り付ける

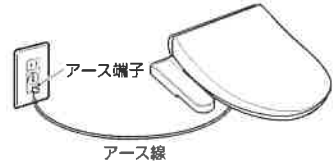
故障や漏電のときに感電の原因になります。

アースを接続する

- ガス管・電話線・避雷針・水栓などへのアース線接続は法令で禁止されています。
- アースの取り付け（D種接地工事）は、電気工事店または販売店にご相談ください。

アース線をアース端子へ確実に接続する

- アースを取り付けるときは、電源プラグを抜いてください。
- 設置場所の変更や転居のときは、アースの取り付けをしてください。
- アース端子がないときは、電気工事店または販売店にご相談ください。



（つづく）

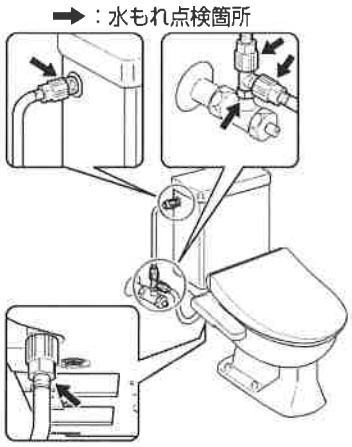
取り付けかた（つづき）

配管接続部などに水もれがないか点検する

1 付属のパッキンが余っていないか確認する

●余っているときは、パッキンを付けてない接続部をはずし、パッキンを取り付けてください。

2 給水する前に、各接続部のゆるみがないか確認する



●ゆるみがあるときは、モンキーレンチなどでしっかり締めてください。

3 水道の元栓を開く

4 止水栓を開いて、配管接続部に水もれがないか確認する

水もれがあった場合

1. 水道の元栓と止水栓を閉める
2. 水もれのある接続部をはずし、もう一度取り付ける

お願い

●どうしても水もれが直らないときは、水道の元栓を閉めた後、水道工事店にご連絡ください。

5 時間の経過とともに水もれすることがあるので、据付工事後、数日間は広口容器を設置しておく

動作確認の手順

取り付けが終わったら、以下の手順で動作を確認してください。

1 コンセントに電源プラグを根元まで差し込む

●ノズルが１回伸縮し、その間、操作パネルの全てのランプが点滅します。（初期動作）
●本体温水タンクが満水なら全てのランプが点滅する代わりに「水勢」「温水」「便座」ランプが点灯しますので、手順３に進んでください。

2 「おしり」ボタンを押す

●本体内の温水タンクに給水され、満水になると操作パネルの全てのランプの点滅が止まり、「水勢」「温水」「便座」ランプが点灯します。（給水中は本体表示部のランプが順に点灯し、スクロールします）

3 水が温水になるまで待つ（約５分）

●便座も温まるのを確認してください。
●時間は水温や周囲の温度によって変わります。

4 便座ふたを開けて、着座センサーを白紙や手でふさぐ

●着座センサーが着座を検知します。（便座ふたが開いていないと検知しません）
●脱臭ファンが動き始めます。

5 着座センサーをふさいだまま、「おしり」ボタンを押す

●自動でノズル洗浄をします。
●ノズルが伸びて、ノズルから洗浄水（温水）が出ることを確認してください。
ビニールシートなどを当てて、周囲へ水が飛び散らないようにしてください。

6 洗浄水（温水）が出るのを確認したら、「止」ボタンを押す
着座センサーをふさいでいた白紙などを取り除く

●洗浄水が止まり、ノズルが本体に収納されます。